

## 第 12 回霧ヶ峰自然環境保護協議会議事録

- 1 日 時 平成 22 年 5 月 20 日 (木) 午後 1 時 30 分 ~ 4 時 00 分
- 2 場 所 諏訪合同庁舎講堂
- 3 出席者 27 団体
- 4 会議内容

### 【土田座長】

本日は、大変お忙しいところ、ご参集いただきまして、ありがとうございます。3月の協議会に提案のありました八島ヶ原湿原への防鹿柵の設置について、3月以降自然再生推進検討会において、検討いただいております内容をご報告して議論いただくとともに、他の課題につきましても忌憚のない議論をしていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは協議に入る前に、副座長の交代について申し上げます。

副座長については、本協議会規則第6条の規定により座長が指名することとされています。これまで副座長を上桑原牧野農業協同組合 組合長の矢崎清己様に務めていただいておりますが、このたびの牧野農業協同組合の役員改選により小松伸一様が新たに組合長に就任されました。これに伴い、本日より協議会副座長を 小松伸一 上桑原牧野農業協同組合 組合長にお願いしたいと思いますので、ご了承お願いいたします。

それでは協議事項に入ります。

まず協議事項の(1)霧ヶ峰自然再生推進の計画の策定について、事務局より説明をお願いいたします。

### 【長田課長】

資料1 「霧ヶ峰自然再生推進の計画の策定について(案)」により説明

### 【土田座長】

ありがとうございました。ただいまの説明に関し、まず何かご質問がありましたら、お願いいたします。ご意見はまた後でお伺いします。

ご質問ございませんでしょうか。

(特になし)

なにか、ご意見等ございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。では、ただいまの事務局の提案のとおりすすめることとして、よろしいでしょうか。

**【異議なしの声】**

ありがとうございます。わたくしどもも、色々注意して調査行いますが、関係者の方々の調査協力をお願いしたいと思います。

続いて、協議事項の(2) ニホンジカ等による植生被害対策について です。これは項目が3つありますが、一括して説明をお願いし、そのあとでご質問、ご意見を伺うこととします。

まず、最初に、アの八島ヶ原湿原への防鹿柵の設置について及びイの霧ヶ峰(車山肩地域等)における電気柵等の設置について、事務局より説明をお願いいたします。

**【長田課長】**

資料2 八島ヶ原湿原への防鹿柵設置について(案)」及び資料3 「霧ヶ峰(車山肩地域等)における電気柵等の設置について(案)」により説明

**【土田座長】**

ありがとうございました。たくさんご説明いただきまして。もう一つ、ウの諏訪地方野生鳥獣対策(ニホンジカの捕獲)につきまして、地方事務所林務課よりご説明をお願いいたします。

**【林務課 前島課長】**

資料4 「諏訪地方野生鳥獣対策(ニホンジカの捕獲)について」により説明

**【土田座長】**

ありがとうございました。

ただいま、3つの議題につきまして説明いたしましたが、こういったものでも結構ですが、ご質問ございましたらお伺いいたします。

**【環境会議・諏訪 飯田氏】**

八島湿原のシカの柵というけど、シカが入り込むから、森林化が防げるという考えもあるのではないかと思います。柵をつくることによって、八島湿原の森林化が促進されるんじゃないかという懸念もありうると思いますが、どうでしょうか。

【土田座長】

八島湿原のシカの被害で、一番大きいのは踏み荒らしで、食害というよりも、むしろ踏み荒らしの被害のほうが大きいですね。それで、高層湿原は踏み荒らしが起きてしまうと、非常に弱い植生ですので、自然も珍しいし、元の状態になるのに何十年もかかるということになります。草原の場合は、自然の法則である程度保たれるという可能性ありますけれども、湿原と草原と質が違う自然ですから、湿原のほうが、問題が非常に大きいということでございます。

【環境会議・諏訪 飯田氏】

シカを閉め出した結果、森林化の心配は全くないといっているんですか。湿原の森林化が促進されるということは、結果的にありえますか。

【土田座長】

現状で、湿原が森林化といいますか、少し林が昔より増えてきたということが言われていますけれども、ほとんど多くはレンゲツツジですね。これはシカ食べませんので、増えいく可能性があると思いますけど、レンゲツツジも高層湿原の植生で、ある程度木になると枯死して自然に還っていくといいますか、自然の中で、将来、何千年とかそういうスケールで考えるとこのままの状況で森林化が進むとか、シカがいなくなるとか、そういうことはないと思います。

【環境会議・諏訪 飯田氏】

ミズナラがシカの食害にあって、シカを閉め出した結果、森林化がより促進されるってことは、無視できないと思うんですけど、そのところどうですかね。

【土田座長】

湿原の柵の内側は、天然記念物に指定され、現状では事実上、いっさい手をつけられないんですね。そういうところは放置しておくとも森林化が進みますけれども、シカによる樹木の被食によって森林化を防ぐというより、シカはむしろ草のほう食べていますので、樹木の皮をはぐということはありますけれども、現状で霧ヶ峰で、これだけたくさんのシカが入っている場所では草を食べることが多く、樹木が増えて、むしろ、自然遷移の結果のほうが多いと思います。

ですので、今回、ご質問にありました天然記念物の景観等の調査は今年度できませんでしたが、数年のうちに行って、そういった問題も含めて必要な部分につきましては、対応・措置していきたいというふうに事務局のほうも考えております。

【環境会議・諏訪 飯田氏】

高さ2mというけど、冬だったら簡単に飛び越えられると思うんですよ。ありうると思います。うまく柵に沿って歩いてくればいいけど、出られなくて中をうろうろするってこともありうると思うんですよ。それを追っかけ回して、人間が入るってことは基本的にできないと思うんですよ。そこをどう考えますか。

【長田課長】

1点目の柵の高さ2mが、降雪期においては、シカに飛び越えられるのではないかとということでもありますけれども、泉山先生等にお聞きするなかでは、そういったことも含めて大丈夫じゃないかというお話でした。そのへんは再度専門家に確認をしていきたいと思えます。それから、シカの捕獲は、柵の中に入った場合も含め、かなり困難であることを認識しています。はたして皆さんで追っかけて、うまく柵沿いの捕獲施設に入るのかどうかということ、確実に入るとも思っていませんし、本当にどうなるのか心配しております。色んなアイデアがありまして、ジャンプ台みたいなものを内側に設置をして、そのジャンプ台を使って、柵の外側へ飛び越えさせて出させればいいんじゃないかという話も出ましたし、あるいは麻醉銃で撃てばいいんじゃないかという話もあるんですが、麻醉銃で撃つまでにシカに近づくこともできませんし、天然記念物のエリア中を人間がズボズボと入って歩き回ってことは全くできませんので、そういったことも困難であります。非常に悩ましい問題でありまして、これがいいというふうなアイデアが確実に見えてない状況であるというのが正直なところであります。それで、ひとつの方法としまして、先ほど説明したような方法が考えられるのではないかとということで、そういったものを何カ所かつくっておかないと、後ほど施設をつくるのには費用がかかるものですから、やってみてどのような方法がいいのかというのは、また実施しながら色々と知恵をしばって考えていかなければならないかなと考えているところであります。

【環境会議・諏訪 飯田氏】

いずれにしても、柵の中に入ったら、捕獲は非常に難しいということですよ。

柵の中でうろうろされちゃうと、逆に被害が多いのではないですか。かえって踏み荒らしがあって、どうしようもないと思うんですが。

【長田課長】

一つは、今まで相当の数のシカが入る、その被害と、万が一、何頭か入ってしまう、その被害の程度の差ということはあると思います。もう一つは、わたしも専門家じゃないものですから、断定的には言えないんですけども、シカは昼間、隠れるものがないようなところにはいかないということで、そういうわけで湿原のど真ん中にいるということよりは、柵の周辺のほうに集まるんじゃないかと。シカは柵沿いに動くような行動をする習性

があるという、お話に基づいての計画でございます。

【環境会議・諏訪 飯田氏】

設置は鉄製のフェンスを使いますよね。建設業者じゃないとできないと思いますが、どうでしょうか。

【長田課長】

これにつきましては、森林管理署のほうにも色々とお聞きしているわけですが、他地域では、ボランティア等によって日亜フェンスを設置した実績がかなりありまして、当然リーダーを育成して作業指導をしまっているわけですが、素人でもできるというふうに考えております。

【飯田氏】

設置するために、作業道をつくりますよね。

【長田課長】

作業道というようなものは必要ありません。遊歩道の外側に柵をつくりますので、草原の中に入ったところに、資材を運び込むことはありますが、それは人力でその地点まで運んでいくだけの話でありますので、作業道というものは特には考えておりません。

【環境会議・諏訪 飯田氏】

鉄製ということだったんですけども、今カラマツの間伐材の利用がなくて困っているって聞きますが、これにすることはできませんか。

【長田課長】

今のところは日亜フェンスの設置というのが、今までの実績もあって、耐久性もあって、軽量で運搬も容易である、作業も私共素人でも十分に出来るということで、最適ではないかと考えているところであります。

【環境会議・諏訪 飯田氏】

林務課の前島課長さんはどうですか。これを機会に、カラマツの間伐材利用を売り込みませんか。

【林務課 前島課長】

もちろん、木材の利用は大きなテーマでして、使えるところは県の仕事でも民間でも利用することはあるんですけども、この柵の仕様、わたしもちょっと分からないんですが、

パッケージのものでありますので、なかなか杭だけというのは難しいかと思えます。そのなかで全般の作業性、経済性を考えて選定されたということであれば、なかなか仕様の一部を変えて使うのは難しいのではないかと。木は使えるところで使っていただきたい。もう一つ、木というのは、永久構造物ではなくて、腐るという性質がございますので、腐ってもいいというところには、どんどん使っていただきたいのですが、ケースバイケースで使っていただきたいとは思っております。

【土田座長】

他にご質問どうぞ。

【諏訪地域自然保護レンジャー世話人会 三村氏】

たまたま、この八島保護区の鳥獣保護を担当しております。そのへんのところから、ちょっと質問させていただきます。防護柵を 22 年度から 23 年度にわたって設置されるということで、この 22 年度に設置される箇所については、ここに設置されることは非常に歓迎であって、ありがたいなあと思っております。というのは、この外側にあたります和田地区の方に、「エコバレー」や「ブランシュたかやま」などのスキー場がありまして、シカは暗いところを好んで歩きますので、どうしてもこういったスキー場の中をうろつくことがあります。だいたいそこに潜伏しているわけですが、そういうところで、この地区にはかなりシカがおります。

それから、ちょうどこの地区の男女倉街道で今月の 13 日に分かった結果ですが、昼間、山の中の道を歩いても、ぞろぞろシカを見るなんてことはないですけども、男女倉まで下るのに、だいたい今年の春、出産した子供までいれてだいたい 60 頭くらいがぞろぞろ歩いているのを確認しました。非常に多い所なんです。そのために非常に効果的かな、と思っております。

それから、捕獲実施状況についてですが、3 月 20 日に長和町周辺地区で、今シカの話したのはこのへんのところに該当するわけですが、上小猟友会と記載してありますが、これは上小地区の広域捕獲ということですか。それとも諏訪の猟友会が入った広域捕獲ということか。それをちょっとお尋ねしたい。

【林務課 前島課長】

これは上小地区での広域捕獲でございます。

【三村氏】

分かりました。上小地区ということですね。従事者が 88 名に対して、捕獲数が 25 頭ということですが、猟友会が 2 月 27 日にやりました、車山のほうの関係だと思えますけれども、米沢・北大塩地区、これは 76 名に対して 45 頭の捕獲数ということになっています。

この上小地区でやりましたのが、数としては2番目に多いわけですが、ここを合わせて、諏訪の猟友会と上小地区の猟友会との広域捕獲っていうものをぜひ考えて欲しいです。これは、前々から提案していることですが、なかなか行政の縦割りの関係で実施されてないんです。伊那のほうでは、よく広域捕獲が実施されているんですけども、この保護地区は非常にシカが多くて、色々被害をもたらす元になっている地区ですので、是非この上小と諏訪との広域捕獲、これを合わせてやっていただきたい。そのほうが効果あると思います。そういうことを希望しています。

【林務課 前島課長】

広域捕獲については、ご提案のとおりでございます、できるだけ大きな規模でということでございますので、なかなかそれぞれの地区の事情で調整が上手くいかない問題ではあります、そういう方向に向かって少しでも努力したいと思います。

【土田座長】

他にご質問ございますか。どうぞ。

【霧ヶ峰パークボランティア連絡会 野口氏】

電気柵についてお聞きしたいんですけども、1案、2案あるんですけど、踊場湿原から車山へ行く右側の登山道があるんですけども、その場所は通行できるように電気柵を設置するのでしょうか。

【事務局 笠原】

そこについて、もし空けなきゃいけないということであれば、考えて、例えば人が通れるようなかたちにしなきゃいけないと思っておりますし、それも含めまして、張れるのかどうかということも含めて、ちょっと早急に考えたいと思っております。もし、ここに張るというのであれば、そのことも考慮して行います。

【環境会議・諏訪 飯田氏】

踊場湿原から上がってくるこのエリアは、わたし一番好きなところです。ここに電気柵を張るのは、やめてください。シカがここにたくさんいます。せめて、シカ的生活域を分断しないで下さい。すごく植物が豊かだし、森林化もかなり進んでいて、シカの生きている場所を確保して欲しいと思います。1案は納得しますが、2案はやめてください。はじき返したら、今度シカがいなくなりますよ。シカ的生活エリアを守ることを考えていってください。

【長田課長】

1案か2案が現在、まだ決めてないわけでありまして、現地を調査しながら、ご意見のあったことも含めて色々な面で考慮して、今後検討してまいりたいと考えております。

【環境会議・諏訪 飯田氏】

分かりました。2案は是非やめてください。

【長田課長】

今、2案に反対のご意見があったんですけれども、皆さんの色々なご意見を聞いて総合的にどうしていくのか決めていきたいと思っておりますので、他にご意見ありましたら、お出し頂ければ、事務局としてはありがたいと思っております。

【下桑原農業協同組合 宮坂組合長】

今、2案に反対のご意見ありましたけれども、2案をやることによっていいのは、ニッコウキスゲ等の花を守るという意味では、非常にこの場所は生きてくると思います。特にこの辺から下に林がありまして、多分、昼間林の中にシカはいると思っておりますので、それが上にあがってきて、ニッコウキスゲの花芽を食べるといった被害がここ何年か出ています。1案のうち、赤い線の位置に約800mの電気柵を、ここの2、3年やりまして、ビーナスラインの山側のニッコウキスゲがある程度、守られているという実績がございます。そういう状況があるものですから、多分その意味で2案というものをやれば、これ以上、上に来ないようになるだろうということがございます。

もう一つ、やはり今、シカが非常に増えておりますので、駆除をするという前提で、ものごとをある程度考えていかないといけないんじゃないかなと思います。この2案も検討課題に入れていいんじゃないかと思っております。

【環境会議・諏訪 飯田氏】

1案は反対しておりません。2案でつくと、生活地域が分断されてしまうと思います。駆除すればいいんじゃないかといっても、絶滅させるわけにいかないし、以前からシカが生活しているので、ある程度生活地域を守ってやらなければならないでしょう。生活地域のど真ん中にやられちゃうと、かえって他の地域へ出る等の弊害を招くおそれがあると私は思います。1案の電気柵に特に反対とは言っていません。

【土田座長】

他にご意見ございますか。



【事務局 笠原】

今のところ、電気柵が 1.6 kmしかないという物理的な制約もございまして、今色々と考えていたところでございます。その中で、1案と2案、こんなかたちでどうかと思ひまして、一応ご提案させていただきました。宮坂組合長さん、飯田さん、野口さんからいただいたご意見を参考にしながら、遅くとも今月末から来月の頭までには、設置したいと思ひますので、日にちはこれで設定させていただきたいと思ひます。このあたりに電気柵を設置して、ニッコウキスゲの群落を保護していくということにつきましては、皆様ご賛同していただけると思っておりますので、そんなかたちでよろしくお願ひしたいと思ひます。

【土田座長】

それでは検討をお願いし、いい案出していただければと思ひます。他にご意見でも結構ですけれども、ご提言、ご助言でも結構ですので、ありませんでしょうか。

【信州大学 大窪准教授】

事務局のほうに、追加説明をお願いしたいのですけれども、防鹿柵の案につきましては、自然再生推進計画等検討会で、2回開催し検討したという経緯がありましたけれども、今日そのところのご説明はなかったようなので、前回の協議会において検討会で揉むことを決めていただいて、その後、2回検討会を行って出てきた案がこの本案であるというような経過の説明をもう一度して頂きたいと思ひます。わたし検討会のメンバーなんですけれども、今回3つの議題を同時に審議されているんですけれども、2つめのイのところの（霧ヶ峰車山肩地域等における）電気柵等の設置については、検討会の場では、電気柵を持っていくということだけしか、議題にはあがっておらなかったの、詳しい日程やその他のことについては、議題にはなかったように記憶しておりまして、検討会の位置づけがどこからどこまでっていうような、これは検討会では揉まないですとか、それは、この協議会の場で決めると思ふんですけれども、そのあたりの位置づけや経過について補足説明をお願いします。

【長田課長】

ちょっと説明が不足しておりまして、大変失礼いたしました。大窪委員さんからお話ありましたように、霧ヶ峰自然再生推進等検討会ということで、本協議会の部会に当たるわけですが、その検討会で、4月21日および5月13日、2回にわたりまして、今回の防鹿柵の設置、あるいはそれに関連しまして、車山肩へのシカの移動、そのシカによる被害防止ということでの電気柵の設置、それから柵の設置については、植物をシカから守るといふような緊急的な対策でありまして、植物をニホンジカから守るといふ抜本的な対策としましては、やはり捕獲ということも含めて、大きな意味での野生鳥獣対策が必要だということで、以上の3つを関連する協議事項として、2回の検討会にかけさせていただいたところ

でございます。

本日、湿原への防鹿柵の設置につきましては、検討会で出された色々な疑問点あるいは解決に向けたご提言等を色々集約して、その結果の決まっている部分をお示しさせていただいているところでございます。あと、車山肩地域等における電気柵の設置につきましては、これも湿原の防鹿柵ほどは具体的に計画がお示しできない中で、2回の検討会の中で説明はしています。設置をしたいということ、その必要性等々は検討会でも説明をさせていただいております。その説明の中では、設置場所は20年度、21年度と同様にするということ、具体的には設置の場所につきましては地権者、それから地元関係者と協議の上、決定していくと。それから具体的な設置時期については、5月下旬から6月上旬として、別途設定をしたいというふうなご説明をさせていただいております。設置時期あるいは設置位置につきましては、関係者とある程度、協議をさせていただいた中で、検討会に出させていただいたものよりも具体化したもので、今回ご提案をさせていただいているということであります。

いずれにいたしましても、このニホンジカの対策、特に柵の設置につきましては、色々な角度から検討していかなければならないということがありまして、そのために検討会を設けまして、その中で細かい色々な議論をいただいて、その結果をもとに本協議会に提案させていただいて、最終的なご決定いただきたいと考えているところでありますので、宜しくお願ひしたいと思ひます。

#### 【大窪准教授】

ご説明ありがとうございました。検討会でもご意見があった点なんですけれども、防鹿柵の設置時に、作業員が湿原の周辺に入らなければ作業ができないということ、杭を打つのに土地をある程度、攪乱しなければならないこと等について、また外来種が新たに侵入、定着するような要因をつくってしまうということがありまして、その点について、リーダーの養成も含めて作業時に留意して、作業していただけるように宜しくお願ひいたします。

あと、本年度は行わない箇所ですけれども、旧御射山神社の北側ですね、湿原を横切るところにグレーチングを設けることについてなんですけれども、検討会のときには発言しなかったんですが、やはりそこを掘るといふのは、やはり高層湿原の中の地盤を攪乱するというようなことで、またそれも外来種等の侵入の一要因になりますでしょうし、植生を一部破壊してしまうというような懸念でございますので、そういうことについても今年度中にご検討いただきたいと思ひます。位置についてもなんですけど、宜しくお願ひします。

#### 【長田課長】

1点目の設置作業時に湿原の植生等への影響がでないよう、あるいは外来種が侵入しないような配慮が必要だという、ご助言につきましては、検討会のときに大窪委員からお話がありまして、わたくしどものほうでも十分認識をして進めていきたいというふうにご考慮

おります。したがって、リーダー研修や実際の作業にあたっては、どのような対策をとるかについて、具体的にこれからつめますが、作業に従事していただく方に、十分な対策をとっていただきながら、進めたいと考えております。つきましては、どんな対策が必要かということは、専門家の大窪先生をはじめ、色々と教えていただきたいと思います。ちょっと時間がないので、早急にやらなければならないのですが、宜しく願いをしたいと考えております。

2点目のグレーチング、特に市道横断部、一般車両が通行するというので、ただ置いて、グレーチングを止めておけばいいということには、事故のことも考えますと、難しさがあります。そうなりますと、U字溝を設置することが一般的には考えられるわけですが、大窪先生や色々な方から細心の注意が必要だということだとか、あるいはここは一般車両が通ることに関連して、どんな構造物を設置しなければならないかを検討しなければいけません。端的に言えば、通行車両が一部車両に限られれば、大規模なU字溝のようなものが必要なくなるとか、車両が通行しなければとか、色々あると思いますが、これは、諏訪市の建設課さんのほうとまだ打ち合わせやっております。23年度のことではありますが、今おっしゃったような湿原へのダメージという課題もありますので、早急に幅広く、色々な視点で、道路管理者の諏訪市と協議をしてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

【土田座長】

他にご意見ございますか。どうぞ。

【環境会議・諏訪 飯田氏】

市道の話が出たんですが、あそこは土砂が流れ込むんですね。せめて透水性の簡易舗装で良いからやって欲しいってことで決まったはずですが、なぜかといいますと、かなり大昔の話ですが、青木さんという有名な方がいらっしゃったとき、諏訪市と舗装をしないという協定を結んだそうです。それで、できないという趣旨のことがあったようですが、結構土砂が湿原に流入してしまうそうですね。ぜひ検討お願いします。一般車両を通行止めにしてくれないかということ、以前轟課長がお願いしたようですが、法的にできないということ、私は個人的にお聞きしました。多分できないと思います。せめて、透水性の舗装くらいは考えてもいいと思うし、ぜひ早急をお願いしたいと思います。

【長田課長】

それでは、わたくしどものほうから、諏訪市の建設課のほうに、ただいまのご意見を伝えていきたいと思っております。

【土田座長】

何かご意見、他にございますか。

では、時間もございますので、これまで出されました意見より、本協議会としましては、提案のとおり八島ヶ原湿原の周囲に防鹿柵を設置することについて了承してよろしいでしょうか。

特にご反対の方、いらっしゃいませんか。

【異議なしの声】

では、そのように皆様にご了解頂いたということにしたいと思います。

なお、具体的な設置時期につきましては、事務局と南信森林管理署において、関係機関と協議し、日程を設定させていただきますので、協議会構成団体の大いなるご協力をお願いいたします。

また、車山肩地域への電気柵等の設置につきましても、色々ご意見がでしたが、関係者のご協力をお願いいたします。

さらに、設置後の行動調査や植生調査及び維持管理につきましても、関係各位におかれましては、予算確保と適切かつ着実な実施について最大限のご配慮をお願いします。

【土田座長】

続いて協議事項の(3) 霧ヶ峰車山肩への路上駐車禁止看板の設置について、事務局より説明をお願いします。

【長田課長】

資料5 「霧ヶ峰車山肩への路上駐車禁止看板の設置について(案)」により説明

【土田座長】

ありがとうございました。

ただいまの説明に関しまして、まず何かご質問ありますか。どうぞ。

【環境会議・諏訪 飯田氏】

なぜ、ロイヤルイン跡地のほうは、締め切らなければいけないのか教えてください。貸してもらえない理由はなんでしょう。

【長田課長】

わたしも正確には経過を聞いてないのですけれども、一つには地代など費用の問題はあ

と思います。

【環境会議・諏訪 飯田氏】

お金を払うとすれば、県が払いますか。

【長田課長】

県では、いわゆる県営駐車場というものは、道路の付帯施設としては、道の駅しか持っておりません。あとは、駅前広場等に県営駐車場がございますけれども、観光施設としての駐車場というのは、一般道路ではないというのが現状でございます。県のほうで県営駐車場として、条例設置し費用を出して経営していくというのは、極めて困難であると思っております。

【環境会議・諏訪 飯田氏】

諏訪市では、できませんか。

【長田課長】

なんとかしなきゃいけないというのは、みなさん共通でお持ちなんですけれども、県がだめなら諏訪市さんはどうですか、わかりましたとは行かない。なかなか色々な問題あるみたいですので、今後調整をはかっていきたいと思っております。

【環境会議・諏訪 飯田氏】

では、37台分はどうして借りられるんですか。

【長田課長】

わたくしどももその状況の資料を持っているわけではなくて、調べてはいるんですが、まだよく承知してないんですけれども。どうなんですかね、ご承知の方がいればですが。多分、牧野組合さんが何か知ってらっしゃるかどうかってことですね。

【環境会議・諏訪 飯田氏】

それと、もう一つ。去年前の課長さんに聞いたんですが、名前はいえませんが、駐車 30分以内に限るといった看板を自費で設置したそうです。無許可で問題があるのではないかといったんですけど、趣旨としては間違っていない。その人だって営業に差し障るから、それはそれでよいと思います。個人に出させるのは気の毒だと思うし、前々から駐車場を広げてほしいことは言っていました。できるだけ早くなんらかのかたちで広げてもらいたいということと、路上駐車禁止の看板を、法的な問題あると思うけど、なんらかのかたちで協力してあげて欲しいと思います。

そうすれば、渋滞だって解消するわけですね。それをせずに、駐車禁止としても意味ないと思います。渋滞、渋滞と言うけど、去年で本当に渋滞したのは、せいぜい1日か2日くらいだと思います。わたしが行ったときは、日曜だったけれども、わりと空いてて、時間帯でも違いますが、そんなに心配ないですよ。観光客にしてみたら、たまたま運悪かったくらいのものだと思うんです。こんな時間に来てまずかったなと。あんまり渋滞、渋滞と言うけど、観光客にしてみればそんなに深刻ではないかもしれません。

【長田課長】

駐車場に、夜のうちから止められて、高原を散策されて、翌日お帰りになる。したがって、12時間とか極端に長時間停めているお客さんもないことはないようです。どのくらいの間、みなさん、停めているかというデータがないものですから、承知してないんですが、かなり長時間停めている方もいることは事実でございます。駐車場のキャパシティが限られている中で、できるだけ多くの人にご不便なく観光地を訪れていただくことのためには、色々な面で考えてかなきゃいけないということで、一つは閉鎖中の駐車場をトップシーズンだけでも開場できないかと、先ほど申し上げたとおりです。

もう一つはやはり、駐車場の回転を早くするといいますか、ある程度、皆さんお互い様ということで長時間駐車はなるべく避けていただくという呼びかけをしてもいいんじゃないかというようなご意見ございましたけれども、これも言われてみればそうかなと個人的には思うんですけれども、みなさんから、なにかご意見があれば、この際いただきたいと思しますので、よろしくをお願いします。

【土田座長】

今、駐車場問題に関しまして、なにかご助言等ありますでしょうか。あるいは、ご提言ありますでしょうか。色々、諸問題絡んでいて、難しい問題だとは思いますが。

【長田課長】

今すぐには出ないようですので、また、気がついたことがありましたら、後日で結構ですので、事務局にご意見等お寄せいただければありがたいと思います。

【土田座長】

事務局のほうでも、色々ご検討いただければと思います。色々、他にも渋滞対策あると思いますけれども。

では、他に何かご質問、ご意見等ございますか。

一応、ただいまの事務局の提案のとおり進めることとしてよろしいでしょうか。

**【異議なしの声】**

では、そのように決定いたしましたので、よろしくお願ひいたします。

**【土田座長】**

続きまして、報告事項に入ります。

まず、報告事項の(1) 平成21年度 霧ヶ峰「草原・湿原・樹叢」調査報告書について、事務局より報告をお願いします。

**【長田課長】**

資料 「平成21年度 霧ヶ峰「草原・湿原・樹叢」調査報告書」により説明。

**【土田座長】**

ありがとうございました。

ただいまの報告に対しまして、ご質問、ご意見はございますか。

これにつきましては、平成20年度の調査が、秋から始まったと思いますが、昨年度にかけて、1年半くらい調査させていただきました。その結果でございます。皆様から多大なご協力頂きましたことに関しまして、お礼を申し上げます。

なにかご質問でしょうか。どうぞ。

**【八島湿原山小舎組合 田口組合長】**

本当に貴重な資料作っていただきまして、ありがとうございました。協議会の方々には、当然配布されているわけですが、協議会の方々には各団体の代表ということでありますので、できれば、霧ヶ峰に関係する方々の目にも多くふれるようしていただきたいと思ひます。できるだけたくさん増刷していただき、霧ヶ峰の現状を協議会の代表者だけでなく、この関係者の方々に共通の認識として、理解できるようなものとして役立つようであれば、なおいいなと思ひしております。例えば、各ビジターセンターですとか、できるだけたくさんつくっていただき、大勢の方々に配布できるようなかたちをとっていただきたいと思ひしております。

**【長田課長】**

ご提案のとおりであると思ひますので、そのようにしてまいりたいと思ひます。

**【土田座長】**

今、増刷するということですが、ちゃんとしたかたちの製本していただければと思ひますけれども、場合によっては、費用がかかるものには有料で配布するかたちですね。なん

らかの方法があるとは思いますが、またご検討をお願いしたいと思ます。

【環境会議・諏訪 飯田氏】

インターネットのホームページに入れてしまえばいいと思ますが、どうですか。

【長田課長】

今のやり方も含めて、事務局で考えていきたいと思ます。

【土田座長】

他にご質問、ご意見等ございませんか。

また、内容につきまして、色々ご質問等ございましたら、わたくしどものほうにお寄せください。

また、今年度もすでに調査が始まっておりまして、より多くの方々に関係させていただいています。また皆様方のご協力をお願いしします。

【土田座長】

では、続きまして、報告事項の(2) DVD「ヤマナシじいさんから聞いた霧ヶ峰の物語」のテレビ放映につきまして、事務局より報告をお願いいたします。

【長田課長】

資料6 「DVD「ヤマナシじいさんから聞いた霧ヶ峰の物語」のテレビ放映について」により説明

【土田座長】

ありがとうございます。

続きまして、報告事項の(3) 各団体が実施した、又は実施する予定の事業について、報告をお願いしします。

(事務局からは特になし)

【土田座長】

では、出席者の皆さんのほうで、なにかありますでしょうか。どうぞ。

【霧ヶ峰パークボランティア連絡会 野口氏】

写真が2枚、白黒の写真があるんですけど。登山道の「険」について、ちょっとご意見いただきたいと思つて来ました。車山の肩から車山の頂上へ行く途中の登山道ですけど、



その中で大きなものが4つか5つあるんですけども、これが大分前からあると思いますが、年々大きくなってきていると。今、一番大きいのは、直径4~5m、高さは下から見て2mくらいですね。高さ自体はそんなに高くないんですけども、上へ来た方は記念にひとつずつ、上にあげてくのかなと思うんですけど、これがなかなか2mもあると、大きな石もけっこうのっていますので、危険じゃないかなという話が出ました。

場所としては、ちょうど富士見台の上のほうのカーブで、2カ所、3カ所あります。写真で見ますと、最初のところが出たのは、登山道の横のベンチがあるところ、ここは道からは、はずれていますが、多分、道から外へ出てくみ上げているのかなと思います。

あと石の上ののっているものが一つあるんですけど、こういう調子でどんどんどんどん上げてくと、落ちこちてくるのかなあとということです。もう1枚の写真があって2つくらい見えるんですけど、これは実際3つくらいつなげて、ピラミッドみたいなかたちになっているんですけども、これが4~5mくらいの大きさになっています。これをどういうかたちにしていけばいいのかなという、ご意見いただきたいと思っております。

**【土田座長】**

はい、ありがとうございます。この「険」、危険があるということですが、何かどなたかご意見等ありますでしょうか。他の場所にもあると思いますけれども。

今までは、ケガをしたとか何か観光客の方から苦情が出たということは、聞いてらっしゃいますか。

**【霧ヶ峰自然保護センター 吉岡公園管理員】**

観光客の方から、ケガをしたなどという報告は、センターのほうには来てないんですけども、やはり歩く中で少し崩れたところは危険なのではないか、小学校の方ですとか歩かれること多いですので、そんな時に危険なのではないかという意見は、いくつか聞いたことございます。

**【土田座長】**

なにか他にご意見、ご提案でも結構です。

**【長田課長】**

それでは危険だというご意見も出ましたので、事務局が調整役となりまして、登山道の管理者であります、諏訪市さんのほうで、どうしたらいいのかということを検討して頂くということにしていきたいと思います。

**【土田座長】**

事務局のほうで、諏訪市さんと検討していただくということでございます。また、何か

ありましたら、事務局のほうへ申しつけてください。

他に何かご報告について。はい、どうぞ。

**【車山観光協会 武田副代表】**

報告事項とお願いですけれども、車山高原では、5,6年前から外来植物の駆除を地域の方々と一緒に行ってきたんですけれども、主に車山山頂付近のセイヨウタンポポ、ハルジオオン、ビーナスライン沿いのアラゲハンゴウソウなどを駆除してきました。今年度も、地域の方々や一般の方々にご協力を頂きながら、進めていきたいと考えております。ついては、駆除方法、駆除後の生育状況等々について、先生方からご指導いただきながら、周辺の自然環境の保全に、十分注意しながら進めていきたいと考えております。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

**【土田座長】**

はい。ありがとうございます。また、ご協力の程をお願いします。他にございますか。

**【霧ヶ峰ネットワーク 熊田代表】**

霧ヶ峰ネットワークでは、一昨年ですね、プロ・ナトゥーラ・ファンドという自然保護助成基金から助成金いただきまして、「霧ヶ峰草原史」という冊子をつくりました。ここにいらっしゃる方は、全員ではないかもしれませんが、お送りさせて頂きました。できたのは昨年ですが、色々問題ありまして、発送のほう遅れておりました。中身のほうは、霧ヶ峰の地形の成り立ちから現在までの植生とか動物とかそういったものを含めて。また、霧ヶ峰で行われている活動などをまとめているものですが、基本的には絵本のようにしてあります。説明が足りないところ、ありますが、高校生以上対象に読んでいただきたいと思ってつくっております。また、ヒヤリングとか資料収集が十分でないところもありまして、おそらく間違いがあったり、説明が不足しているところもあると思いますが、本日何部かお持ちしていますので、もしお持ちでない方いらっしゃいましたら、ぜひ持って帰っていただきたいと思います。ご意見とか教えて頂けることがございましたら、ご連絡いただきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

**【土田座長】**

はい。「霧ヶ峰草原史」の出版、大変ご苦労様でございました。また、色々ご活動いただければと思います。

他にございますか。

それでは次回の開催予定につきまして、事務局からお願いいたします。

**【長田課長】**

次回の開催予定でございますが、10月下旬頃を目安にしております、本日と同様、諏訪合同庁舎、講堂にて開催する予定でございます。また、具体的に日程が決まりましたら、なるべく早めに連絡をさせていただきたいと思っておりますので、ご出席をお願いいたします。

**【土田座長】**

ただいま事務局につきまして、次回については、10月下旬頃に諏訪合同庁舎にて開催したいとの提案がありましたが、よろしいでしょうか。

具体的な日程は決まり次第早めに皆様にご連絡いたします。

また、その間におきましても必要に応じて部会や検討会の開催をお願いすることもありますので、皆様のご協力をお願いいたします。

以上をもちまして、第12回霧ヶ峰自然環境保全協議会を終了いたします。長時間ありがとうございます。